



2017年3月期 決算補足説明資料

2017年5月12日

石油資源開発株式会社

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

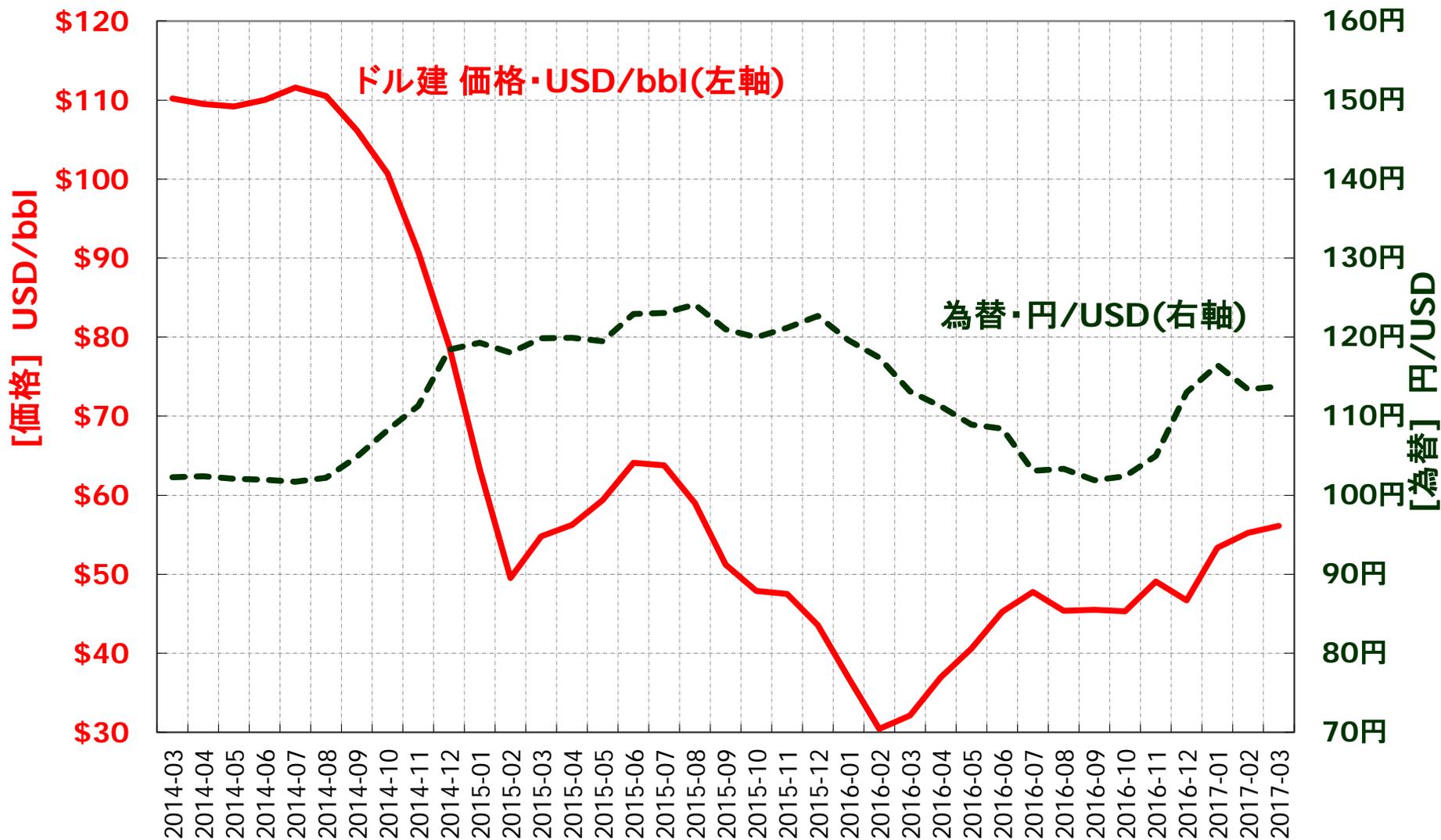
Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控え下さい。

注: 本資料において、(a) は実績数値を、(f) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話 03-6268-7111

原油CIF価格と為替の動き



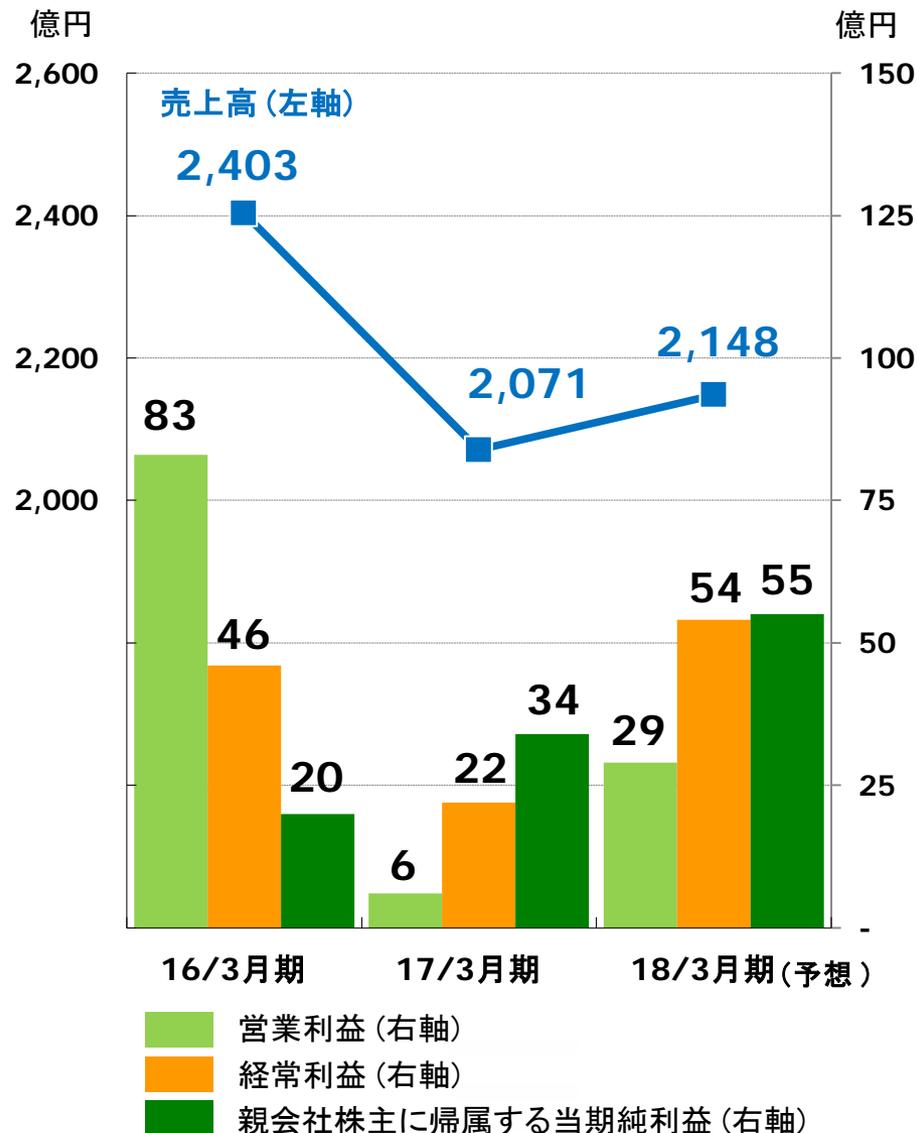
17/3月期決算、18/3月期予想【ハイライト】

■ 17/3月期 実績（16/3月期 実績比）

[億円]	16/3月期 実績 (a)	17/3月期 実績 (a)	比較増減	
売上高	2,403	2,071	▲331	▲13%
営業利益	83	6	▲76	▲91%
経常利益	46	22	▲24	▲52%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	34	+13	+64%
油価 (USD/bbl)	51.48	45.60	▲5.88	▲11%
為替 (円/USD)	121.06	108.53	▲12.53	▲10%

■ 18/3月期 予想（17/3月期 実績比）

[億円]	17/3月期 実績 (a)	18/3月期 予想 (f)	比較増減	
売上高	2,071	2,148	+77	+3%
営業利益	6	29	+23	+336%
経常利益	22	54	+32	+144%
親会社株主に帰属する 当期純利益	34	55	+21	+61%
油価 (USD/bbl)	45.60	50.00	+4.40	+9%
為替 (円/USD)	108.53	110.00	+1.47	+1%



17/3月期 決算概要【ポイント】

[億円]	16/3月期 通期実績 (a)	17/3月期 通期			実績 (a)
		当初予想 5.12公表 (f)	修正予想 11.8公表 (f)	修正予想 2.8公表 (f)	
売上高	2,403	1,945	1,895	2,103	2,071
営業利益	83	4	▲12	▲8	6
経常利益	46	10	▲37	35	22
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	19	▲3	49	34

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (USD/bbl)	51.48	45.00	43.34	45.09	45.60
為替/米ドル (円/USD)	121.06	115.00	103.63	107.20	108.53

◆ 17/3月期 当初予想 (5.12公表) → 修正予想 (11.8公表) → 修正予想 (2.8公表)

【－】販売価格の下落、為替差損益の変動 等 (11.8 予想修正理由)

【＋】販売価格の上昇、海外買入商品原油販売数量の増加、為替差損益の変動、旧社宅用地売却益の計上 等 (2.8 予想修正理由)

◆ 17/3月期 修正予想 (2.8公表) → 再修正 (4.28公表) ならびに決算値 (5.12短信)

【＋】販売価格の上昇、国内天然ガス販売数量の増加、国内請負事業の収支改善 等

【－】海外原油販売数量の減少、当社の持分法適用会社である日本海洋掘削株式会社に係る持分法投資損失の計上 等

17/3月期 天然ガス 販売状況【前期比】

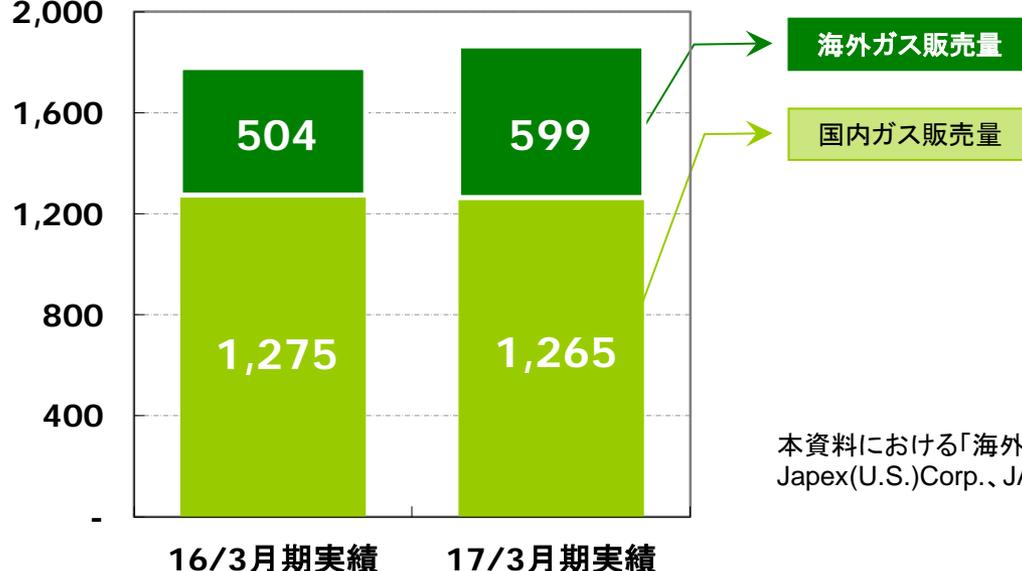
販売量: 百万M3 売上高: 百万円		16/3月期	17/3月期	比較増減
		4-3月 通期 (a)	4-3月 通期 (a)	4-3月 通期
天然ガス:	販売量	1,780	1,864	+84
	売上高	68,469	55,329	▲13,139

販売価格の下落

販売量 内訳

国内ガス販売	販売量	1,275	1,265	▲10
(うち国産天然ガス)	販売量	(769)	(744)	(▲24)
海外ガス販売	販売量	504	599	+95

百万M3 2,000



カナダ シェールガス販売量の増加

本資料における「海外ガス」の販売量は、海外連結子会社である Japex(U.S.)Corp.、JAPEX Montney Ltd.の数値を記載。

17/3月期 原油 販売状況【前期比】

販売量: 千KL 売上高: 百万円		16/3月期	17/3月期	比較増減
		4-3月 通期 (a)	4-3月 通期 (a)	4-3月 通期
原油:	販売量	3,233	2,762	▲470
	売上高	102,918	82,098	▲20,820

【権益原油の内訳】

国産原油 (※1)	販売量	340	301	▲38
	売上高	13,815	10,273	▲3,541
海外原油 (※2)	販売量	1,616	1,181	▲434
	売上高	48,384	28,653	▲19,730
ビチューメン (※3)	販売量	306	91	▲214
	売上高	4,894	669	▲4,225

イラク ガラフ油田の
原油販売量減少

DEMO生産一時休止
による販売量減少

【油価と為替の前提】

原油CIF価格	(USD/bbl)	51.48	45.60	▲5.88
ビチューメン価格(※3)	(USD/bbl)	21.05	9.94	▲11.11
為替/米ドル	(円/USD)	121.06	108.53	▲12.53

※1 「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除く。

※2 「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャペックスガラフの数値を記載。

※3 「ビチューメン」の価格及び売上高は、ロイヤリティー控除後の数値。

17/3月期 決算概要【前期比】

単位：百万円	16/3月期	17/3月期	比較増減
	通期実績 (a)	通期実績 (a)	
売上高	240,302	207,130	▲33,171
売上総利益	47,279	32,172	▲15,107
探鉱費	6,516	1,512	▲5,003
販管費	32,426	29,975	▲2,451
営業利益	8,336	685	▲7,651
営業外損益	▲3,684	1,537	+5,221
経常利益	4,652	2,222	▲2,429
特別損益	▲3,143	970	+4,113
法人税等	6,388	1,642	▲4,746
非支配株主に帰属する 当期純損失(▲)	▲6,970	▲1,892	+5,077
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,090	3,443	+1,352

「増益要因を＋」、「減益要因を▲」で記載

売上総利益

国内原油天然ガス	▲70億円
海外連結子会社	▲70億円
託送収入の減少	▲28億円
その他国内請負事業等	+14億円

探鉱費

国内探鉱費用の減少	+14億円
海外探鉱費用の減少	+35億円

販管費

当社(単体)一般管理費削減	+5億円
国内販売費や償却費等の減少	+25億円

営業外損益

持分法投資損益	▲58億円
借入金の為替換算差額、その他為替差損益 (16/3期)差損88億円 → (17/3期)差益34億円	+122億円

特別損益

(前期)減損損失の減少	+30億円
旧社宅用地売却等	+8億円

18/3月期 通期業績予想 【前提条件】

【油価、為替等の前提】

(上段)2016年1月～2017年3月、(下段)2017年1月～2018年3月					通期
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	

原油CIF (JCC)	USD/bbl	前期実績		37.17	45.92	46.72	52.00	45.60
		今期予想		50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
為替	円/USD	前期実績		110.71	105.32	103.24	114.38	108.53
		今期予想		110.00	110.00	110.00	110.00	110.00

JACOS Bitumen	USD/bbl	前期実績	7.12	16.95	-	-	-	9.94
		今期予想	-	-	-	-	-	-
JACOS 希釈Bitumen	USD/bbl	前期実績	-	-	-	-	-	-
		今期予想	-	-	33.78	33.65	-	33.81
JML Gas	CAD/mcf	前期実績	1.58	1.36	2.20	2.73	-	1.95
		今期予想	2.23	2.23	2.23	2.23	-	2.23

- “JACOS Bitumen” は JACOS社のビチューメン販売単価（ロイヤルティ控除後）、2016年5月より「DEMOエリア」における生産操業の一時休止を前提とし、通期販売を見込まない
- “JACOS 希釈Bitumen” は JACOS社の希釈ビチューメン販売単価（ロイヤルティ控除後）、2017年央より「HE(拡張開発)」における生産操業開始を前提とし、下期販売を見込む
- “JML Gas” は Japex Montney社のガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

18/3月期 天然ガス 販売予想

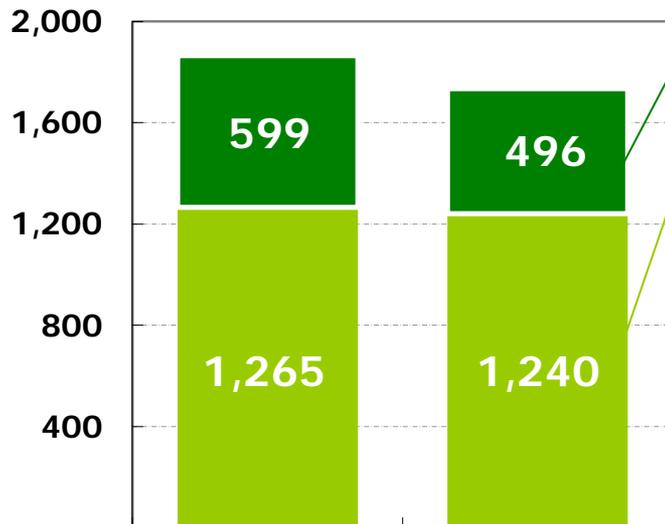
販売量: 百万M3 売上高: 百万円		17/3月期	18/3月期	比較増減
		4-3月 通期 (a)	4-3月 通期 (f)	4-3月 通期
天然ガス:	販売量	1,864	1,736	▲129
	売上高	55,329	56,572	+1,242

販売価格の上昇

販売量 内訳

国内ガス販売	販売量	1,265	1,240	▲26
(うち国産天然ガス)	販売量	(744)	(713)	(▲32)
海外ガス販売	販売量	599	496	▲103

百万M3



海外ガス販売量

カナダ シェールガス販売量の減少

国内ガス販売量

本資料における「海外ガス」の販売量は、海外連結子会社である Japex(U.S.)Corp.、JAPEX Montney Ltd.の数値を記載。

17/3月期実績 18/3月期予想

18/3月期 原油 販売予想

販売量: 千KL 売上高: 百万円		17/3月期	18/3月期	比較増減
		4-3月 通期 (a)	4-3月 通期 (f)	4-3月 通期
原油:	販売量	2,762	2,898	+136
	売上高	82,098	93,230	+11,132

販売価格の上昇

[権益原油の内訳]

国産原油 (※1)	販売量	301	271	▲31
	売上高	10,273	9,993	▲281
海外原油 (※2)	販売量	1,181	1,329	+147
	売上高	28,653	40,501	+11,848
ビチューメン (※3)	販売量	91	—	▲91
	売上高	669	—	▲669
希釈ビチューメン(※4)	販売量	—	339	+339
	売上高	—	7,929	+7,929

イラク ガラフ油田の
原油販売量増加DEMO生産一時休止
による販売量減少HE生産操業開始に
よる販売量増加

[油価と為替の前提]

原油CIF価格	(USD/bbl)	45.60	50.00	+4.40
ビチューメン価格(※3)	(USD/bbl)	9.94	—	▲9.94
希釈ビチューメン価格(※4)	(USD/bbl)	—	33.81	+33.81
為替/米ドル	(円/USD)	108.53	110.00	+1.47

※1 「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除く。

※2 「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャペックスガラフの数値を記載。

※3、4 「ビチューメン」「希釈ビチューメン」の価格及び売上高は、ロイヤリティー控除後の数値。

18/3月期 業績予想

単位：百万円	17/3月期 通期実績 (a)	18/3月期 通期予想 (f)	比較増減
売上高	207,130	214,878	+7,747
売上総利益	32,172	32,660	+487
探鉱費	1,512	1,373	▲140
販売費	29,975	28,300	▲1,675
営業利益	685	2,988	+2,303
営業外損益	1,537	2,437	+900
経常利益	2,222	5,424	+3,202
特別損益	970	▲31	▲1,002
法人税等	1,642	2,301	+659
非支配株主に帰属する 当期純損失(▲)	▲1,892	▲2,472	▲579
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,443	5,564	+2,121

「増益要因を +」、「減益要因を ▲」で記載

売上総利益

国内原油天然ガス ▲20億円
海外連結子会社 +35億円
その他 国内請負事業等 ▲16億円

販売費

当社(単体)一般管理費削減 +10億円

営業外損益

持分法投資損益 +56億円
借入金の為替換算差額、その他為替差損益
(17/3期)差益 34億円 → (18/3期)差益 0億円
▲34億円

特別損益

(前期)旧社宅用地売却等 減少 ▲8億円

油価、為替等の前提及び収益への影響

油価、為替等の前提	原油CIF価格 USD 50.00 / bbl	為替 110.00円 / USD	カナダ産ガス価格 CAD 2.23 / mcf (85.00円/CAD)
18/3月期 収益 影響額	USD 1 /bbl の 価格上昇による 利益増加額は…	1 円/USD の 円安による 利益増加額は…	CAD 1 /mcf の 価格上昇による 利益増加額は…
営業利益	530 百万円	230 百万円	1,740 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	380 百万円	130 百万円	760 百万円

[油価、為替等の前提]	17/3月期	18/3月期	比較増減
	通期 (a)	通期 (f)	
原油CIF価格 (USD/bbl)	45.60	50.00	+4.40
為替/米ドル (円/USD)	108.53	110.00	+1.47
カナダ産ガス価格 (CAD/mcf)	1.95	2.23	+0.28

為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生します。また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によっても影響されます。